

【フェーズ4】架け橋カリキュラムの充実 ～既存のカリキュラムにアイデアを加え、内容を深化させよう～

- ・保育者と小学校教員が持参した写真をもとに、「遊びや学びのプロセスで大切にしたいこと」を中心に子どもたちの遊びや学びの様子を伝え合う。
- ・大切にしたいことのキーワードが見えてきたら、前年度に作成した「架け橋カリキュラム」と照らし合わせ、重なる場所に写真を置いたりキーワードを書き足したりする。
- ・「遊びや学びのプロセス・環境の構成・先生の関わり」について追記したことを共有し、幼児教育と小学校教育の育ちや学びのつながりについての理解を深める。

準備

昨年度作成した小学校区ごとの架け橋カリキュラム(拡大印刷)、付箋紙、カラーペン
子どもたちが遊びや学びに夢中になっている写真(参加者が持参する)
校務用タブレット(小学校教員)

1. アイスブレイク (10分)	○自己紹介をする。 氏名、リフレッシュ方法、最近あったうれしかったこと等を紹介する。
2. イメージの共有 (10分)	○本研修会のねらいについて押さえる。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」の確認をする。 ・幼児教育と小学校以降の教育は、育みたい資質・能力でつながっていることを確認する。 ・昨年の研修会で作成した小学校区ごとの架け橋カリキュラムに、今回話し合ったことを追記し、内容を充実させることを伝える。
3. 架け橋タイム (グループ協議) (50分)	① 小学校区ごとの「育てたい子どもの姿」を確認する。 ・昨年参加した先生から、どのような願いでキャッチフレーズにまとめたのかを話してもらう。 ② 架け橋カリキュラムを意識した子どもの姿について語り合う。 ・持ち寄った写真を見せ合い、子どもの姿や育まれている力について、育てたい子どもの姿と関連付けながら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」をもとに語り合う。 ③ 架け橋カリキュラムの内容を充実させる。 ・共通するところに写真を置いたり、「遊びや学びのプロセスで大切にしたいこと」にキーワードを書き足したりする。 ・話合いを通して、環境の構成や先生の関わりについての新たな発見をカリキュラムに追記する。 <p>子どもたちが「思考を働かせる」ことを大切にしたいですね。キーワードに加えましょう。</p> <p>子どもたちがのびのびと発言できるようにし、保育者が子どもの気付きを拾っています。徐々に子どもたち同士で発見したことなどを共有できるようにしていきたいですね。</p> <p>小学校でも子どもの「やってみたい」気持ちを大切にするために、柔軟に合科的な授業を取り入れられるよう、校内でも話し合ってみます。</p>
4. 振り返り (10分)	○全体で気付きや感想を交流する。 ・グループの代表者が、今回新たに出たキーワードを全体に共有する。 ・今回のワークを通して感じたことなど、研修の感想を語り合う。 ・追記した架け橋カリキュラムが今後の実践に生かされるよう、本日の内容を園内(校内)で共有できるようにする。



<進め方のポイント>

- ・市町村主体の研修にする場合は、小学校区でグルーピングすると、より円滑な連携につながる。その際に、前年度の参加者が各グループに入るようにし、前年度に共通理解したことを引き継いだ上でワークを行う。
- ・小学校の先生が話し合いながら校務用タブレットで架け橋カリキュラムのデータを追記しておくと、研修会後すぐに各幼児教育施設や小学校に共有でき、校内(園内)での情報共有がスムーズになる。